

ひろげる
つなぐ
かえる

市民活動・ ボランティア ニュース

2009
9

発行 / みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
514-0009 津市羽所町 700 番地アスト津 3 階
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net
ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

2009年8月25日発行
通巻129号



三重県内の市民活動・ボランティア団体の分布をイメージしたものです。
【出典:当センターHP Mなび】

暑い夏

遅かった梅雨明けのあと、いつものように我が国では「ひろしま、ながさき」の夏をむかえ、鎮魂と不戦の誓い、核廃絶の呼びかけが行われました。

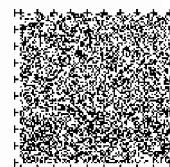
汗とほこりまみれの高校野球の熱戦が暑さに拍車をかけ、8月15日の終戦記念日。

おりしも衆議院議員選挙を控えての政策論争も過熱気味。政党もマニフェストをかざしての論戦。そういう意味では記念すべき選挙です。

今年は殊のほか、暑い夏でもあります。

日々の暮らしの中で感じる不合理さや矛盾、どうにもならないもどかしさなどを抱えて悩ましい者にとっては、胸に手をあて頭をたれ、思いを致す暑い夏でした。

右の様子は SP コードと呼ばれる
バーコードで、専用の読取機で
音声聞くことができます。



三重県NPOグループからお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

- 認証申請団体(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
 - (1)志摩総合サービス(2)浜口淳男(3)志摩市阿児町鵜方4853番地
 - (1)元気豊作(2)村田耕一(3)松阪市鎌田町732番地
 - (1)グリーングラス・みえ(2)岩名秀樹(3)四日市市堀本1丁目3番25号 太平洋プラザ1F
 - (1)環境Re機構(2)川瀬正人(3)いなべ市北勢町阿下喜717番地3
 - (1)コーケン(2)松見正行(3)津市寿町520番5
- (平成21年7月10日～平成21年8月9日申請分)

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- こどもばれっと(平成21年7月7日)
 - 三重福祉音楽倶楽部遊友快(平成21年7月15日)
 - アスベスト対策支援機構(平成21年8月4日)
- (平成21年7月10日～平成21年8月9日届出分)

みえ市民活動 ボランティアセンター からお知らせ

共感を呼ぶプレゼンテーション

～もう、活動アピールはこわくない!～

特定非営利活動法人 大阪NPOセンターの堀野巨求(ほりののぶひで)さんを講師としてお招きし、NPOの運営や活動アピール、意見発表に必要な不可欠なプレゼンテーションを学びます。実際に繰り返して学ぶことで、「共感を呼ぶ」コツと戦略的にうまく伝えるスキルを身につけます。

- とき／9月26日(土)10:00～16:00
(うち1時間昼休憩あり)
- ところ／みえ県民交流センター イベント情報コーナー
- 対象／市民活動団体等に所属している方を中心にどなたでも
- 定員／20名(先着順) ●受講料／3000円
- 申込方法／受講料を添えて9月23日までにアスト津3階「みえ市民活動ボランティアセンター」窓口でお申込みください。定員に達し次第締め切ります。
- 問い合わせ先／みえNPOセンター・ワーカーズコープ
Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971
E-mail center@mienpo.net

中間支援組織担当者ネットワーク交流会 ～顔の見えるつながりを作ませんか?～

中間支援、NPO支援に関わる人が集まり、共通の悩みや疑問を出し合って、意見交換する場です。隔月で協働をテーマに勉強会も開催。いずれも無料、会場はみえ県民交流センター交流スペースです。

- 【交流会】●とき／9月9日(水)13:30～16:00
- 【協働勉強会】●とき／10月8日(木)13:30～16:00
- 問い合わせ先／みえNPOセンター・ワーカーズコープ
Tel.059-222-5995

イベントスケジュール

第20回 あけぼのサロン(おしゃべり会)

- とき／9月1日(火)13:00～15:30
- ところ／四日市じばさん三重5階小研修室
- 参加費／無料
- 内容／「あなたは一人ではありません」。乳がんを体験した方ならどなたでも参加できます。初めての方もぜひ勇気を出

して参加してください。

今回のテーマは「術後の不安をどのように克服したか」。

●問い合わせ先／乳がん体験者の会「あけぼの会」三重支部(担当:小野) Tel.0596-25-3426、090-2944-4773

第5回地域の知の拠点シンポジウム

「犯罪被害者支援講座」

- とき・ところ／9月1日(火)～4日(金)三重県男女共同参画センター、8日(火)津地方裁判所
- 参加費／無料
- 内容／犯罪被害を自分のこととして受け止め、被害者本人および家族・遺族を地域の中でどのように支援していけばよいか理解することを目的としています。講座内容は以下の通り。時間など詳細はホームページを参照。
- 1日…(1)犯罪被害者支援とは。(2)被害者の置かれる現状。(3)犯罪被害者の現状と支援。
- 2日…(4)被害者支援ボランティアの体験談。(5)被害者の心理と支援。(6)被害者の受ける精神的影響。
- 3日…(7)電話相談の実務1 相談対応の基本。(8)電話相談の実務2 ロールプレイ。
- 4日…(9)行政と被害者支援。(10)三重県警の被害者支援ネットワーク。(11)弁護士による被害者支援。(12)みえ犯罪被害者総合支援センターの活動状況とこれから。
- 8日…(13)刑事司法の実際(裁判傍聴)。
- 募集人数／先着100人。8日は1～4日に開催される講座の内、8講座以上受講した方のみ応募可能で募集は30人。
- 主催・申込・問い合わせ先／鈴鹿国際大学
Tel.059-372-2121 Fax.059-372-2827
ホームページ <http://www.suzuka-iu.ac.jp/>

第6回「峰の月」誕生の地邦楽演奏会

- とき／9月5日(土)17:00～ ●参加費／無料
- ところ／国民宿舎「関ロッジ」屋上(雨天:大広間)
- 内容／邦楽演奏(民謡・三線・箏・尺八)。最後に「関ロッジ」の正面に名峰、錫杖ヶ岳を眺め、伊勢の海より出る月を愛でながら「峰の月」を尺八合奏します。
- 問い合わせ先／国民宿舎「関ロッジ」 Tel.0595-96-0029
- 主催／「峰の月」誕生の地邦楽演奏会実行委員会
(事務局:一見) Tel.090-2314-8068

映画上映「ゆずり葉」

- とき・ところ／【津】9月6日(日)13:00～
三重県男女共同参画センター
 - 【伊勢】9月12日(土)13:30～ ハートプラザみその
 - 【伊賀】9月26日(土)13:30～
あやま文化センター さんさんホール
 - 【桑名】10月3日(土)13:00～ 桑名市民会館小ホール
 - 【四日市】10月18日(日)14:00～
四日市市総合会館8階視聴覚室
 - 参加費／前売 大人1200円、高校生以下800円
当日 大人1500円、高校生以下1000円
 - 内容／全日本ろうあ連盟が創立60周年を記念して初製作した映画「ゆずり葉」を上映します。脚本・監督の早瀬憲太郎自身も聴覚障がい者。出演はろう演劇界のリーダー庄崎隆志、SPEEDの今井絵理子ほか。
- 津市と四日市市では上映のほか、映画関係者のトークショーも

開催。希望者は別料金300円で入場できます。ただし、津市の場合、協会会員と賛助会員は無料です。

●申込・問い合わせ先／(社)三重県聴覚障害者協会
Tel.059-229-8540 Fax.059-223-4330

セプテンバーコンサート2009 いせ

～世界の扉を開けて～

●とき／9月11日(金)19:00～21:00 ●参加費／無料
●ところ／いせ市民活動センター北館 いせシティプラザ
●内容／アメリカ同時多発テロをきっかけに始まった平和コンサート。出演予定はチームISE(カントリーダンス)、サクラギファミリア(フラメンコ)、Vivo(ピアノカ・ピアノデュオ)、サニーサイドゴスペルクラブ三重、Pray(フルート・ハーブ・アコースティックギターアンサンブル)、141 Gospel Choir。
元国連カメラマン、スダカラン氏の作品上映やチャリティバザー、小学生の平和へのメッセージ展示なども同時開催。
ドリンクサービスもあるので、マイカップ持参で。
●主催・問い合わせ先／伊勢市国際交流協会
(事務局:伊勢市役所市民交流課内) Tel.0596-21-5549

昭和の縁日 ～魚まちで昔の遊びしようや～

●とき／9月19日(土)15:00～19:30(小雨決行)
●ところ／紀北町紀伊長島(西長島)・長楽寺、多目的会館周辺
●内容／縁日復活2年目! 紀伊長島の住民がスタッフに徹し、子どもたちを迎えます。
食べて、遊んで、親子で懐かしい縁日をお楽しみください(お化け屋敷は19時で終了)。
●問い合わせ先／紀北町役場産業振興課観光係 Tel.0597-32-3905
●主催／昭和の縁日実行委員会



フリーマーケット in 四日市ドーム vol.31

●とき／9月20日(日)10:00～16:00
●ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
●参加費／入場料 当日525円、前売315円
●内容／フリーマーケット700ブース、飲食ブース8ブース、企業ブース6ブース。会場内ステージにて、ダンスパフォーマンス・ウルトラビンゴゲームなどを開催。
三重県環境学習情報センターによる『エコバッグに絵を描こう!』・



我楽の会による『U15キッズフリマ』も行います。

●主催・問い合わせ先／(特活)MFA Tel.059-320-0133
Fax.059-320-0134 E-mail webmaster@mfa.gr.jp
ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>
●共催／レディオキューブFM三重

桑員地域(まち)のエコをまるごと体験!～未来をいっしょに創ろう～ そういんエコフェスタ2009

●とき／9月23日(水・祝)9:00～15:00
●ところ／東員町中部公園(雨天時:東員町保健福祉センター)
●内容／クラフトコーナーやエコ体験、エコ情報が大集合。各ブースでもらえるエコサインを集めると熱気球にも乗れるほ

か、愛・地球博のマスコット、モリゾーとキッコロや三重県ごみゼロキャラクター、ゼロ吉も登場!

スポーツ公園駐車場では、東員町フリーマーケットも同時開催。
主催の桑員エコリーグは、桑員地域を「環境」のキーワードでつなぎ、みなさんとエコな交流を目指すグループです。

●問い合わせ先／桑員エコリーグ事務局
Tel. & Fax.0594-24-9848
E-mail hp@eco-matsuda.info
●主催／そういんエコフェスタ2009実行委員会
(桑員エコリーグ)

新・働き方講座『コミュニティビジネスって、ナニ?』

●とき／9月26日(土)昼の部13:00～15:00
夜の部18:00～20:00
●ところ／松阪市市民活動センター
(松阪市日野町788カリヨンプラザ3階)
●参加費／無料 ●募集人数／20人(先着順)
●内容／「喜ばれるビジネス」、「笑顔がいっぱいになるビジネス」。そういう仕事をしてみたいですね。
今、注目のコミュニティビジネスを、どなたにでも解りやすくお伝えする「カンタン入門編」です。
「地域に役立つ事業・創業」が気軽に無料で学べます。
講師は(特活)コミュニティビジネスサポートセンター(<http://www.cb-s.net/>)です。
●申込方法／「9.26CB講座参加希望」と「住所・名前・Tel・Fax・E-mail」を記入し、FaxかE-mailで申込み。
●問い合わせ先／(特活)Mブリッジ(担当/米山)
Tel.0598-23-8400 Fax.0598-25-3803
E-mail info@m-bridge.jp
ホームページ <http://www.m-bridge.jp/nextdoor/>

第2回 日本語学習支援者養成講座

●とき／【第1回】9月26日(土)【第2回】10月10日(土)【第3回】10月24日(土)【第4回】11月14日(土)【第5回】11月23日(祝・月)【第1・5回】10:00～17:00【第2～4回】13:00～17:00
●ところ／アストプラザ研修室(アスト津4階)ほか
●参加費／無料
●内容／地域の日本語教室で、外国人に日本語を教えているボランティアの方で、全講座出席できる方を対象とした研修です。講師の話を聞くだけでなく、受講生が先生役を担当する『模擬授業』や『教案作り』を取り入れた実践的な内容となっています。
●募集人数／30人 ●応募期間／9月1日(火)～14日(月)
●申込・問い合わせ先／(財)三重県国際交流財団(MIEF)
514-0009 津市羽所町700 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
Tel.059-223-5006 Fax.059-223-5007 E-mail mief@mief.or.jp ホームページ <http://www.mief.or.jp>

子どもの心をわくわくさせる絵本

●とき／9月27日(日)13:30開場 14:00～16:00
●ところ／四日市市立博物館 講座室
(四日市市安島1丁目3番16号)
●参加費／無料 ●応募締切／9月20日(日)
●内容／さあ、絵本劇場がはじまりますよ。「絵」と「ことば」そして「音楽」がふしぎの世界へおさそいします。
●募集人数／親子50組(要申込・先着順)
●申込方法／申込み講座名、月日、氏名、お子様の人数および年

齢をE-mail、Faxで下記へ。

●主催・申込・問い合わせ先／高田短期大学(育児文化研究センター) Tel.059-232-2310 Fax.059-232-6317
E-mail ikubun@takada-jc.ac.jp

第7回三重映画フェスティバル

●とき／9月27日(日)9:30開場 10:00『歓喜の歌』上映
●ところ／三重県男女共同参画センター 多目的ホール
●内容／映画『歓喜の歌』上映と関連トークショーのほか、恒例「学生企画」自主制作映画の上映などを行います。詳細はホームページをご覧ください。前売券はチケットぴあなどで販売中。
●問い合わせ先／三重映画フェスティバル実行委員会
Tel.059-326-1908
ホームページ <http://www.mie-cinemafesta.net>

ワンデーレッスン

「パエリアと季節の野菜たっぷりスープなど」

●とき／9月29日(火)10:15受付 10:30～12:30
●ところ／四日市まんなか子ども劇場
●参加費／一般1000円、会員700円(材料費別途必要)託児500円(二人目から半額)
●内容／先輩ママによるカンタンお料理教室
●申込・問い合わせ先／
四日市まんなか子ども劇場 Tel. & Fax.0593-51-6670



色・いろいろ..

「カラーユニバーサルデザイン」講演会

●とき／10月4日(日)13:30～15:45
●ところ／伊賀市ゆめぼりすセンター 2階大会議室
●参加費／無料 ●募集人数／50人
●内容／いま、すべての人にやさしい色(いろ)の必要性が求められています。
国内で320万人、男性の20人に1人が色弱者であるといわれています。人はみんな、さまざまな夢や希望を持っているように、見ている「色」も違います。自分以外の人たちの色の世界を知り、学びます。
講師は(特活)カラーユニバーサルデザイン機構副理事長の伊賀公一さん。要約筆記・磁気誘導ループあります。託児は9月24日までに予約してください。
●申込・問い合わせ先／(特活)ユニバーサルデザイン同夢
Tel. & Fax. 0595-23-9513 E-mail son@doumu.net
ホームページ <http://www.doumu.net>

津・四日市ドイツ語会話教室

●とき・ところ／10月9日～12月18日(11月6日を除く毎週金曜、全10回コース) 【津教室】アスト津4階・橋北公民館(津駅東口隣接ビル)18:45～20:30
【四日市教室】じばさん三重(四日市市立博物館となり)19:00～20:45
●参加費／10回で10000円(初回に一括納入)
●内容／三重大大学ドイツ人留学生を講師に迎えて、ドイツ語会話を学びます。全くの初心者の方が対象です。会話の練習(フリートーキング)を主とします。
●申込・問い合わせ先／【津教室:向井】Tel.059-232-0594

【四日市教室:池田】Tel.059-351-4843

●主催／三重日独協会

傾聴ボランティア養成講座

●とき／10月20日(火)13:15～16:00、21日(水)13:15～16:00、22日(木)14:00～16:00、23日(金)10:00～16:00
時間はすべて予定
●ところ／三重県男女共同参画センター2階 セミナー室A
●参加費／資料代1000円
●内容／介護保険施設等へ訪問し、高齢者の方々の「お話相手のボランティア活動」を目標にした養成講座。
●募集人数／先着30人(10月24日は満員受付終了)
●申込方法／参加日時、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、Tel & FAX、携帯電話をFax、E-mail、郵送で申込み。
●問い合わせ先／受付窓口:津傾聴ボランティア会(担当:真鍋)
515-2617 津市白山町上ノ村9-52
Tel. & Fax.059-262-1490 E-mail m-manabe@zvtv.ne.jp
●主催／みえ傾聴ボランティア連合会

第435回 NACS-J自然観察指導員講習会・三重県

●とき／11月21日(土)～23日(月・祝)
●ところ／津市青少年野外活動センター現地集合・解散(津市神戸小世古1680-1 Tel.059-228-4025)
●参加費／一般24000円、NACS-J会員19000円(2泊6食、受講料、Nacs-J初年度登録料5000円、保険料、テキスト代)
●内容／「自然の保護を考えよう」「自然の観察」など地域の自然を理解するためのプログラムです。参加資格は満18歳以上で、講習会全日程の講義・実習を受講できる方。自然観察指導員として、地域での活動をすすめる意欲をもった方です。
●募集人数／60人(三重県内50人、県外10人)
●応募締切／【県内の方】10月26日(月)必着
【県外の方】10月9日(金)～10月26日(月)必着
●申込方法／申込書、自然観察会の活動暦や、参加の動機、今後の活動の希望を郵送、E-mail、Faxで下記へ。E-mailの方はホームページ(<http://nacsjie.web.fc2.com/>)からフォームをダウンロード。
●申込・問い合わせ先／【県内の方】自然観察指導員「第435回講習会」係 515-0072 松阪市内五曲町34-8
木原寿代方 Tel. & Fax.0598-23-0856、090-3481-3637
E-mail hisayo@mctv.ne.jp
【県外の方】「第435回講習会」係 104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2階 (財)日本自然保護協会
Tel.03-3553-4105 E-mail 2009@nacsj.or.jp
ホームページ <http://www.nacsj.or.jp/shidojin/index.html>

よびかけ・報告

2009津市国際交流デー

「国際屋台村」出店者募集

世界各国の食べ物販売を行う出店を10店、募集します。当日は屋台村のほか、バザーや展示なども開催します。
●とき／11月1日(日)11:00～16:00
●ところ／お城西公園(津市役所隣)
●応募締切／9月1日(火)必着
●申込方法／応募多数の場合、選考により決定。指定の申込書

を下記へ持参またはFax。

●問い合わせ先／津市国際交流協会

津市役所3階国際・国内交流室内(担当:平井・山口)

Tel.059-229-3146 Fax.059-229-3366

第21回ライトミュージックフェスティバル 出演バンド募集

楽しく、熱のこもったライブ演奏ができるアマチュアバンドを募集します。応募資格は主要メンバーが県内に居住、または勤務しているアマチュアのグループ、個人。打ち合わせ会議に出席でき、チケット販売に努力していただける方に限ります。応募曲は、登録したメンバーでライブ演奏できるもの。オリジナル、コピーは問いません。

●とき／12月19日(土)18:00～21:00

●ところ／津リージョンプラザ

(お城ホール)

●応募締切／9月2日(水)必着

郵送の場合は消印有効

●申込・問い合わせ先／三重県軽音楽

振興協議会(K-Net)事務局 Tel.& Fax.0598-42-6656

E-mail knet@guitar.ocn.ne.jp



助成金 情報

第8回日本環境経営大賞

日本環境経営大賞表彰委員会と三重県では、「環境経営の発展」と「環境文化の創造」を目的として、全国のあらゆる企業・団体などの環境経営取組の中から、その「さきがけ」となるものや優れた成果をあげているものを募集しています。

●受付締切／10月15日(木)消印有効

●表彰部門／環境経営部門【大企業の部】【中小企業・団体等の部】

環境保全取組が企業経営の環境・経済・社会の3側面において総合的かつバランスのとれた持続可能性の高い経営につながっている事例

・環境価値創造部門

環境に関する製品・サービスやビジネスモデルに加え、ライフスタイルの転換へのムーブメントにつながる環境保全取組(複数の多様な主体が有機的・機能的に協働・連携している取組を含む)が、新たな環境価値の創造に貢献している事例

・CO2削減部門

温室効果ガスの排出量削減について、顕著な削減実績とともに、将来の削減に向けた特色や社会的影響のある取組

●応募資格／事業規模の大小や業種・業態にかかわらず、全国の企業(事業所)、NPO、学校、病院などの組織(自薦・他薦を問いません)

●応募方法／日本環境経営大賞ホームページ参照

<http://www.eco.pref.mie.jp/taisho/>

●問い合わせ先／三重県環境森林部地球温暖化対策室 Tel.059-224-2368

E-mail kankeiei@pref.mie.jp

(財)国際コミュニケーション基金

●受付期間／10月1日(木)～10月20日(火)必着

【調査研究助成】

●助成の対象となる活動／情報通信の普及・発展、グローバル化に寄与する調査、研究(法律、政治、経済、社会、文化、技術の各分野あるいは各分野にまたがるもの)。

助成・援助の申込者は、個人の場合は調査研究者本人、グループの場合は代表者とします。

●対象事業の期間／調査研究が平成22年4月以降に開始され、平成25年3月までに終了のもの

●助成の額／1件あたり300万円まで、10件程度

【国際会議開催助成】

●助成の対象となる活動／情報通信の普及・発展に寄与する国際会議

●対象事業の期間／平成22年4月～平成23年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで、10件程度

【社会的・文化的諸活動助成】

●助成の対象となる活動／情報化社会の動向に即し、情報通信を通じて社会や教育等に貢献する各種の非営利団体(NPO)・非政府組織(NGO)の活動、「草の根」活動。地域社会の国際化(特にアジア太平洋地域)につながる各種の活動、情報通信を通じて社会に貢献する各種の文化事業、情報通信の普及・発展あるいは国際間の相互理解促進に寄与する活動や事業など(たとえば、イベント、講演会、ボランティア活動)。

●対象事業の期間／平成22年4月～平成23年9月

●助成の額／1件あたり100万円まで、10件程度

●応募方法／申込書は下記へ申込むか、ホームページからダウンロード

●問い合わせ先／(財)国際コミュニケーション基金 113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート センターオフィス Tel.03-5978-1051 Fax.03-5978-1050

ホームページ <http://www.icf.or.jp/>

平成22年度「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

●受付締切／10月31日(土)消印有効

●助成の対象となる団体／社会福祉法人・一般社団法人又は一般財団法人・特定非営利活動法人・その他社会福祉の振興に寄与する事業を行う法人又は団体等

●助成の対象となる事業／(1)先駆的活動助成…独創性又は先駆性、普遍性のある高齢者・障害者の在宅福祉等の推進及び社会参加の促進、子育て支援、障害者スポーツの振興を図る事業

(2)地域活動助成…地域で活動するボランティア団体等民間団体が実施する地域の実情に即したきめ細かな高齢者・障害者の在宅福祉等の推進及び社会参加の促進、子育て支援、障害者スポーツの振興を図る事業

(3)地域活動助成モデル事業…基金助成事業において過去に助成した事業のうち特に優れた事業で、さらに発展させることが望まれる事業

※今回の募集では「団塊世代等による孤立した高齢者への支援事業」および「父親の子育て活動支援促進事業」を地域活動助成モデル事業とします。

●助成の額／先駆的活動助成 上限500万円、地域活動助成・地域活動助成モデル事業 上限200万円

●問い合わせ先／(1)先駆的活動助成 独立行政法人福祉医療機構 基金事業部 基金支援課 Tel.03-3438-9945 又は 9946

(2)地域活動助成・地域活動助成モデル事業 三重県社会福祉協議会 Tel.059-227-5145

ホームページ <http://www.wam.go.jp/wam/gyomu/kikinigyoku/index.html>

おねがい

市民活動・ボランティアニュースに情報を提供される際、以下のことに留意のうえ、積極的なご活用を期待しています。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月10日までにお送りください。

(2)送付はE-mail(ない方はFax)で。その際、「市民活動・ボランティアニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

E-mail center@mienpo.net Fax.059-222-5971

転載を希望される場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカースコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

〈広告〉

株式会社等の各種法人設立から許認可手続まで

NPO・社団法人設立手続

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル

法

務

よ

い

よ

0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所L.C内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

〈広告〉

障害者や高齢者をお客さんに

……特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター(以下、「バリアフリーセンター」と略)の主目的は？

中村／障害者や高齢者をお客さんと考えて、観光の再生を図ることが活動の主目的です。伊勢志摩には、伊勢神宮や鳥

羽水族館、御木本真珠島など観光地や施設、宿泊施設もたくさんあり、食べ物も美味しいし、景色も綺麗。この豊かな資源を活かして、お客さんを増やすにはターゲットを広げるのが一番ではないかと考えました。

……障害者や高齢者に注目したきっかけは？

中村／バリアフリー化した観光地の成功例を雑誌で見たことがきっかけです。カナダのウイスラーはスキー場で有名な観光地ですが、バリアフリー化した結果、冬よりも夏の方がお客さんが多くなり、しかも冬の客も増えているそうです。

……雑誌記事だけで動いたのですか？

中村／現在、バリアフリーセンターの事務局長を務める野口が中心となって活動していた伊勢ばりふり団との関係が大きいですね。このグループは「お出かけチェアウォーカー」というバリアフリーマップを出版していたのですが、メンバーには障害者もあり、彼らと親しくなるうちに、どんなバリアが事前にわかっていけば、「行く」「行かない」は障害者自身が判断できるし、外に出たがっている人も多いと実感しました。

……バリアフリーセンターの業務内容は？

中村／障害者や高齢者に向けて伊勢志摩の観光施設や宿泊施設、レジャー情報などのバリアフリー情報を発信しています。

……センターを作ることで、お客さんが増えると思いましたが？

中村／バリアフリーセンターができるまで、伊勢志摩の観光客の内、障害者は約0.5%でしたが、その家族など同伴者を入れれば2%になりました。たくさんある観光地の中から伊勢志摩を目的地に選ぶ人たちを2%増やすのは難しいけれど、これまで旅行に出られなかった障害者や高齢者を倍にするのはできると思いました。

それともう一つ、町のバリアフリー化も狙っていました。バリアフリーセンターの利用者が増えれば、確実に

町がバリアフリー化するだろうと。それは、地元の障害者が喜ぶことですし、自分たちが高齢者になった時に、住みやすい町になっているということでもあります。メリットが繋がって、広がること。それが本来のまちづくりだと僕は思っています。

……しかし、バリアフリー化している施設は少なかったのでは？

中村／それに関してはすごく幸いなことに、すでに取り組んでいる宿泊施設が2件あり、僕はそこに、どんどんお客さんを送るだ



オフロード車椅子ランディーズの貸し出しなど、アクティビティの部分にも力を入れています

けで良かったのです。

バリアフリーセンターからお客さんがたくさん送られて「あの宿は儲かっている」という噂がたてば、他の宿泊施設もバリアフリーに取り組んでくれるだろうと考えましたし、実際そうになりました。新聞やテレビなどのメディアにも、バリアフリーセンターを通じて、バリアフリールームを紹介するため、注目度も高くなります。普通の人が「テレビで見た部屋に泊まりたい」と問い合わせがくることもあり、全客室の中で一番高額の部屋にも関わらず、稼働率が一番いいという宿泊施設もありますよ。

……施設のバリアフリー化には資金が必要では？

中村／施設を改装しなくても、障害者を受けいれたいという気持ちがあれば、すでにバリアフリーですよ。例えば、施設内に段差があるとしても、必ず誰かが手伝うようにすればいいこと。もちろん、バリアフリーセンターとしてはお客さんに、バリアのこと、その回避方法は伝えますし、その宿では対応できないお客さんはお送りしないというシステムができています。

……センターが間に入ることで、トラブルを未然に防ぐのですね。しかし、それは直接お客さんと宿泊施設との間ではできないことでしょうか？

中村／宿泊施設の人は障害について詳しくありませんし、障害者は自分の障害について話すことを嫌がります。バリアフリーセンターも当初は、障害を教えてもらえないことに悩みました。

その時、僕があるスタッフにアドバイスしたのは、まず、自分が車椅子利用者だと話すこと。こちらから心を開けば、相手も「この人ならわかってくれる」と、話してくれます。

障害者の方も、自分の障害が普通だと思って話すので、お互いに認識がずれることがあります。例えば、車椅子と一言と言っても、いろいろな種類があるし、重さも違いますよね。

野口／時折、「宿は障害者割引がありますか？」と聞かれることもあります。その時はきっぱりと「ありません」とお答えします。食事をして、宿泊することに障害者も健常者もありませんからね。どこまでが正当な要望かはきちんとしておかないと。

……観光の再生にはバリアフリーが必要？

中村／バリアフリーが必要なのではなくて、お客さん一人ひとりのことを考える力と仕組みが必要だということです。“おもてなし”を形にするには、バリアフ



左から野口あゆみさん、中村 元さん、スタッフの野原明浩さんと中村千枝さん

施設を改装しなくても、障害者を受けいれたいという気持ちがあれば、すでにバリアフリーですよ。

リーは最適。「一人ひとり違う障害を持っているから、それぞれに合わせて考える」ことができる宿になるということです。それが広がれば、一般のお客さんにとってすごくいい宿になるはず。

バリアフリーの観光地作りというのは、これまで日本各地で行われていましたが成功したのは伊勢志摩が初めて。他はバリアフリーにしたのはいいけれど、集客に結びついていません。NPOの中には「事業を行ったことが成功」みたいにする人もいますが、成果を出して、世間に喜ばれて、社会に組み込まれていくことが大事でしょう。

理念を語る理事長と現場をまとめる事務局長

……バリアフリーセンターの組織として、理事長である中村さんの役割は？

中村／僕は作っただけで、あとは野口が現場を作ってくれたと思います。僕はバリアフリーや障害者に関してはほとんど知らないし、見る目もない。でも、彼女は連れ合いが障害者ということもあって、見る目がある。それに、「障害者のために何かしなくちゃ」という気持ちで、一生懸命走り回っている彼女を見たら、周りも手助けしたくなるし、いろいろな分野と繋がっていくのが当たり前のことです。ただ、僕からすると繋げすぎとは思います(苦笑)。

……繋げすぎとは？

中村／それはバリアフリーセンターの目的ではないだろうという分野とも繋げようとしたらね。

野口／現場にいると「あれもやりたい」ってどんどん出てくるから。その枝葉が分かれて、自分や仕事を圧迫してしまうことはありますね。

中村／でもね、僕が現場に対して「もっと考えろ、動け」って言っているようじゃダメだと思います。逆に「やめろ」って言わなくちゃいけないような人をスタッフにできたのは、すごく良かったですよ。

……中村さんは現在、東京在住ですが、地元にいなくて困ることもあるのでは？

中村／理事長の仕事は、年一回の総会で理念をぶれずに語ることと、お金を持ってくることだけ。後はみんながやってくれます。

野口／連絡事項のタイムラグが時々ね(笑)。でも、重要案件の時はすぐに連絡をくれますし、連絡が来ない時は「あんまり重要視してないな」って思いながら、こちらの判断で動くこともあります。

……理念の確認は大切ですか？

野口／理事長の話聞くことで、ぼんやりしていた部分が明確になりますね。私たち専従スタッフのモチベーションが上がらないと、他のスタッフのモチベーションもあがりません。私たちも仕事をしながら、環境を良くしているつもりですけど、いつも顔を合わせているからマンネリ化してしまい、理事長の話はいい機会になっています。

……おれを言われることなどは、現場のモチベーションに繋がりますか？

野口／それはモチベーションを上げるのに本当に必要です。だから理事長が聞いたなら怒るようなこともばれないようにやっている時もあります(笑)。

例えば伊勢志摩以外の観光地のことを尋ねられて、調べてお答えしたりとか……。

中村／お客様基点のことなら、怒らないです(笑)。止めるのは行政基点の話と、教育や福祉など観光と違う分野に巻き込まれそうになる時ですね。

野口／バリアフリーは環境や教育など、あらゆる分野に関係してくることですから、声がかかることも多いですね。中でも建物に関してのアドバイスを求められることが多いのですが、予算が付いていないことが多々あって……。

中村／お金をくれないなら、やるんじゃないと。

野口／その辺はちょっとジレンマ。アドバイスしなかったら、使いづらい建物になってしまうことが予測されます。そんな時はアドバイスした後、「次はちゃんと予算を持ってきてください」と念を押します。

……この活動が全国的に波及していると感じることはありますか？

中村／平成18年12月の「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」の施行を受けて制定された国土交通省の第一回バリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞しました。福祉分野である厚生労働省ではなく、国土交通省や内閣府がバリアフリーに取り組みだしたことは評価すべきことですし、日本にとってちょっといいことかもしれないと思いますね。

野口／インターネットなどの検索でヒットするのか、賞を頂いてから視察が増えました。

……視察が多いと対応が大変でしょう？

中村／視察に関しては料金をいただいているので、ウエルカムです(笑)。「宿泊してね」とも言えますし、いい収入源。

野口／でも、視察に来て最終的に「我が町では、誰にしてもらえばいいんだろう」というところにおちいて、お帰りになる方々が多いですね(苦笑)。

中村／北川さんが知事を辞める時に「市民との協働で成果はあったのか」という質問が出たそうですが、その時に「バリアフリーセンターが成果を上げて、全国的にも有名になった」と答えたと聞いて、それはちょっと嬉しかったですね。

【データ】

三重県鳥羽市鳥羽一丁目2383-13 鳥羽一番街1階

Tel. 0599-21-0550

Fax. 0599-21-0585

E-mail iseshima@barifuri.com

ホームページ <http://www.barifuri.com>

●代表者 理事長 中村 元

●団体設立年月日 2002年1月23日

●NPO法人化年月日 2003年1月24日

●会員数 91名

●会費 正会員3000円 サポート会員3000円 賛助会員10000円



伊勢神宮参拝などもサポートできます

ひろげる・つなぐ・かえる

みなさんに一緒に考えていただきたい課題をNPOの視点で取り上げます。

ふりかえり会議の行方

三重県ではNPOと三重県が協働事業を実施した際に、“協働事業ふりかえりチェックリスト”を使って当事者双方による事業のふりかえりが行われます。「ふりかえり会議」はNPOと協働の相手側である事業担当課、および仲介者の三重県生活・文化部長官部男女共同参画・NPO室NPOグループをはじめ関係各課など、当事者双方の気づきの場として位置づけられています。

協働事業の進行に従い当事者がまず行うのは、“協働事業ふりかえりチェックリスト”により、双方が協働のプロセスを自己点検することから始まります。事業の企画立案期、中間期、完了期の各段階で実施することになっており、主体的にかかわった当事者同士が同じチェックリストを用いて協働のプロセスや成果について「目標を共有しているか」「役割や責任の分担は妥当か」など、1つひとつの項目にしたがって記入していきます。それぞれが記入したチェックリストを1枚のシートに転記して突き合わせてみると、お互いに思っていたことにズレがあることが分かります。それがなぜなのかを議論し、その課題を共有し、改善の方向を探ることに意味があります。

協働コーディネーターが入らずに当事者同士で行う場合もありますが、当事者同士では気づかなかった点や話しにくい事柄でも第三者のコーディネーターが入ることによって客観性が保たれ、円滑に議論が進むという利点もあります。コーディネーターは意見書を作成し、当事者の気づきとともに今後の事業展開に活かすこととなっています。NPOグループのホームページにも「ふりかえり会議」の意義として「次に活かすことを目的としている」と記載されています。

しかしながら意見書を提出しても、結局、双方にどう活かされたのか、行政のあり方等についても聞き放しで改善されたかどうか不明である点で徒労感しかないというコーディネーターのつぶやきも聞こえてきます。いずれにしても一度は行政の仕組みに組み込まれたものの、肝心の改善という段階で宙ぶらりんになっていると言わざるを得ないのではないのでしょうか。「ふりかえり会議」の今後の行方が気になっています。

市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】

●津市●みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/分部食堂/(有)デザインオフィス萩野 ●桑名市●桑名市市民活動支援センター ●いなべ市●いなべ市市民活動センター ●東員町●とういんボランティア市民活動センター ●四日市市●四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ ●亀山市●亀山市市民協働センター ●鈴鹿市●市民ネットワークすずかのぶどう ●松阪市●三重中京大学/松阪市市民活動センター ●伊勢市●特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会/いせ市民活動センター ●鳥羽市●鳥羽NPOネットワークセンター・結 ●名張市●名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリゾート赤目の森/名張市市民活動支援センター/くらしの情報センター同夢 ●伊賀市●ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所/伊賀市市民活動支援センター ●明和町●めいわ市民活動サポートセンター ●南伊勢町●南伊勢町町民文化会館 ●紀宝町●紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/第三銀行各店/メディカルー光名調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター)(桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野)/三重県米町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンティめい」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町役場

協賛

この市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

三重銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

健全・安心・貢献
東海ろうさん

JAバンク
三重県下JA/JA三重信連

re70 PRINTED WITH SOY INK 古紙 70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。